

ま え が き

今回の財政状況の公表は、平成30年度下半期の財政状況について公表するものです。

具体的には、平成30年10月以降における一般会計及び特別会計の予算の状況及び執行状況を中心に市税負担状況、市債、基金、一時借入金の状況について公表するほか、地方公営企業法適用会計である水道事業会計、温泉事業会計及び下水道事業会計については、既に決算調製がなされましたので、この状況について公表いたします。

平成30年度下半期の財政状況

1 一般会計予算の状況

市の基幹会計である一般会計予算の状況は、第1表に示すとおりであります。平成30年度9月末現在の予算額20,157,952千円に対し、その後5回の予算補正を行い、平成30年度最終予算では、21,161,506千円となっております。

最終予算の歳入においては、市税の構成比率が圧倒的に高く、行政経費の35.4%が市税によってまかなわれている状況です。

歳出においては、民生費（33.1%）、総務費（14.9%）、土木費（11.7%）などの構成比率が高くなっております。

2 一般会計予算の執行状況

一般会計の予算執行状況は、第2表のように予算額21,161,506千円に対し、3月末現在において、歳入では18,731,467千円（88.5%）、歳出においては17,542,486千円（82.9%）と、1,188,981千円の黒字となっております。（5月31日までの出納整理期間があるため、決算額ではありません。）

3 特別会計の予算及び予算の執行状況

特別会計は、地方公営企業法適用会計である水道事業会計、温泉事業会計及び下水道事業会計を除いて、6会計ありますが、それぞれの会計の予算及び執行状況は、第3表のとおりであります。（5月31日までの出納整理期間があるため、決算額ではありません。）

4 市税納入状況

第4表に示すとおり、市税全体での予算額7,500,000千円に対し、調定額は7,794,074千円と294,074千円上回っており、収入済額は7,462,581千円で調定額に対して95.7%の収納率となっております。

5 平成30年度と平成29年度との市税収入の比較

3月末における本年度と前年度を比較してみますと、第5表のように予算額においては0.4%前年度を下回っておりますが、収入済額においては0.5%前年度を上回っております。

6 市税の市民負担の状況

市税の一世帯当たり及び一人当たりの負担額は、第6表のとおりです。調定額における一世帯当たりの負担額は、350,093円で前年度より1,334円少なくなり、一人当たりの負担額は153,897円で1,417円多くなっております。

7 市債の現在高

市の諸事業を行ううえで、一般財源（税等）の不足を補うための長期の借入金である市債現在高は、第7表に示すとおりです。一般会計が19,022,988千円、特別会計が14,007,988千円となっております。

8 基金の現在高

基金の現在高は第8表のとおりです。財政調整基金、減債基金を始め、一般会計及び特別会計で20の特定目的基金と3つの定額運用基金があります。

9 一時借入金の現在高

一会計年度中に一時的に現金が不足した場合に、支払資金の不足を補うために短期間借入れる一時借入金の3月末現在の残高は、第9表に示すように一般会計と特別会計ともありませんでした。

10 市有財産の状況

市有財産としての土地建物等の面積は、第10表のとおりです。

11 水道事業、温泉事業及び下水道事業の決算状況

水道事業、温泉事業及び下水道事業会計は、企業会計であるため3月末をもって事業年度が終わり、既に決算が調製されましたが、その決算概況は第11表のとおりであります。

(1) 水道事業

収益的収支においては、176,913円の余剰（消費税及び地方消費税額を含む。以下同じ。）が生じ、純利益は、137,134千円となりました。

資本的収支においては、455,899千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額38,724千円、当年度損益勘定留保資金265,659千円、減債積立金151,515千円をもって補填いたしました。

(2) 温泉事業

収益的収支においては、86,008千円の余剰が生じ、純利益は、80,106千円となりました。

資本的収支においては、101,394千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,888千円、過年度損益勘定留保資金73,594千円、減債積立金21,912千円をもって補填いたしました。

(3) 下水道事業

収益的収支においては、344,507千円の余剰が生じ、純利益は、334,077千円となりました。

資本的収支においては、1,022,296千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,431千円、当年度損益勘定留保資金736,391千円、減債積立金275,474千円をもって補填いたしました。